



20歳おめでとう 思い出のつまった故郷

「はたちのつどい」が1月7日(日)、文化福祉センター大ホールで開催されました。

式典では、中鉢空さんがはたちの誓いを、竹山芽里さんがお礼の言葉を述べたほか、サプライズで学生時代の懐かしい写真や恩師からのメッセージを集めた記念映像が上映されるなど、会場は笑顔と感動に包まれました。



家族への 恩返しを

「今は仕事で精いっぱいですが、少しずつ家族や友だちとの時間を増やし、いつまでも『遊び心』を忘れない余裕のある大人になり

—— 俱知安の魅力は？
「じゃが祭りなどに参加して、地域と関わる機会も増えたので、子どもの頃よりも町の魅力を感じるようになりました。羊蹄山の山頂から見景色が好きなので、昨年は2回登りました」
20歳を迎えて？
「今は仕事

—— 今、家族に伝えたいことは？
「就職を機に一人暮らしを始めたことで、家族のありがたさを感じるようになってきました。これからは、少しでも育ててくれた恩返しをしていきたいなと思っています」

—— これからの楽しみは？
「道職員は、さまざまな土地で多くの人と関わることができると、いろいろな経験を通して、北海道の魅力をもっと知っていききたいと思っています」



鈴木智也さん

俱知安で生まれ育ち、現在は、北海道職員として後志総合振興局で働く。